

# カボチャ棚の裏



石割京大農園  
Ishiwari Kyoto-univ. Farm



カボチャ棚，すでに覆い尽くされ緑の壁が出現しました。裏に回ると受粉した雌花が次々に膨らんでいます。授粉は受益者負担。かぼちゃ愛好家が毎朝昆虫に代わって受粉させているようです。光合成産物であるでんぷんが果実に蓄えられ実が太っていきます。しかし、着果数が葉のでんぷん供給能力を越えると、雌花は咲かず、新規の実も太らずに落果するようになり、果実数が調節されます。足るを知る、私たちもこうでありたいものです。カボチャの裏には日陰を好む生姜も栽培中（↓）。7月7日、蒸し暑くなる小暑。九州の大雨被害に合掌。